第5次デジタルビジネス研究調査団 参加申込要綱

ホームページからお申込みいただけます。 IT協会 検 索 http://www.jiit.or.jp/

1. 参加料(旅行代金含む)

企業情報化協会会員　480,000円

(エコノミークラス利用時。ビジネスクラス利用時の参加費はお問合せください。)

※上記旅行代金は、2026年10月20日現在の運賃を基準としていますので、運賃改訂により旅行代金を改訂させていただく場合があります。
※調査団パンフレット作成のため写真(3×4cm)を1枚ご提出願います。
※上記料金の飛行機はエコノミークラス(国際線)ホテルはシングルの料金です。ビジネスクラスは別途お問い合わせください。
※会員外の方は、別途ご相談ください。申し込み時点で予約しますので、別途ご相談ください

2. 募集人員

15名　※最小催行人員(実施最低人員)

(注)企画主催事務局が同行いたします。

3. 参加料に含まれるもの

① 国内事前･事後研修会費　※
② 航空運賃(往復)
③ ホテル宿泊料金および税、サービス料金
④ 旅行日程に、明示した団体行動費(移動費、空港ホテル間移動交通費、ガイド、チップ、手荷物運搬費用)
⑤ 訪問先諸経費
⑥ 研修資料費、報告書作成費　※
⑦ 同行事務局員、通訳、企画･事務費※
⑧ 羽田空港施設使用料、空港諸税
⑨ 旅行中朝食
⑩ 海外旅行保険
⑪ 燃油付加運賃
※印は消費税込です

4. 参加料に含まれていないもの

① 国内事前･事後研修会の個人交通費
② 昼食･夕食(参加者による均等割り･後日請求)
③ 現地自由行動費
④ 超過手荷物料金
⑤ 渡航手続諸経費(旅券印紙代など)
⑥ 天災不可抗力的事由により生じたる費用
⑦ 旅行取扱手数料(旅券および査証手続が必要な場合)
⑧ その他個人的費用等(クリーニング代、電話代、飲食代他)
⑨ 羽田空港までの交通費、前後泊費用

5. 参加申込締切日

2027年1月20日(水)

募集人員(15名)に達した時点で締切らせていただきます

会員制度のご案内

公益社団法人企業情報化協会は、法人を対象とした会員制度を設け、セミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。会員外の方はこの機会に是非入会をご検討ください。
資料請求先:顧客ネットワークセンター
TEL:03-3434-6677

6. 参加申込方法

① 小会HPからお申込みください。折り返し正式な申込書類をお送りいたします。
② ご請求書をメールでお送りいたしますので、指定銀行口座へお振込みください。
③ 内部決裁の関係で申込み手続が遅れる方は、その旨お早めに小会へご連絡 ください。
④ メールまたは電話による予約申込みもお受けします。
⑤ 旅行契約は、別記主催者が旅行代金を受理したときに成立するものとします。
⑥ 旅券をお持ちでない方は、申込書類の記載欄をご覧ください。

7. キャンセル規定

お申込後、お客様都合によるキャンセルの場合、次の取消料を申し受けます。

旅行開始日（2027年3月3日）前日から起算して遡って、
1.100日目に当たる日まで以降、旅行代金の30%

2.99日目から70日目にあたる日まで、ご旅行代金の50%

3.69日目から14日目にあたる日まで、ご旅行代金の80%

4.13日目にあたる日以降：旅行代金の100%

ご旅行条件の詳細につきましてはお申込み後にお送りする申込書類内、「取引条件説明書」をご確認ください。

8. お問い合せ･申込先

〒105-0011　東京都港区芝公園3-1-22
日本能率協会ビル3階
(公社)企業情報化協会　ITマネジメント推進センター内
TEL.03(3434)6677　　FAX.03(3459)1704
E-Mail:info@jiit.or.jp

個人情報の取扱いについて

公益社団法人企業情報化協会(IT協会)は、個人情報の保護に努めております。詳細は小会の**プライバシーポリシー**をご覧ください。
今回、ご記入いただきました皆様の個人情報は、本催し(カンファレンス･セミナー･研究会･視察団)に関する確認･連絡および各種諸手続きのため機密保護契約を締結した業務委託先(事務局協力会社および郵便物発送業者)に預託することがありますのであらかじめご承知おきください。



第5次デジタルビジネス研究調査団

韓国の実践から考える、AI時代の企業変革と人材・組織

期間　2027年3月3日(水)～3月6日(土)

訪問都市　韓国・ソウル



調査団派遣趣旨

AIをはじめとするデジタル技術の進展により、企業には事業・業務・組織・人材を一体で見直す変革が求められています。本調査団では、韓国企業の実践や政府施策、イノベーションの現場に触れ、日本との共通点や違いから、自社のデジタル戦略と人材・組織の将来を考えるヒントを持ち帰ります。



研究調査のポイント

1 現地で知る
韓国企業のAI･デジタル戦略/人材･組織戦略/政府施策を現場担当者との対話から捉える。

2 違いを考える
日韓の違いが制度、企業文化、人材、社会のどこから生じるのかを考える。

3 参加者で深める
一社・一部門だけでは得にくい複眼的な気づきを持ち帰る。

参加対象

■ 情報統括役員・部門長の方々
■ デジタルビジネス/DX担当部門･部門長の方々

団長
東京ガスiネット株式会社
取締役会長
鴫谷　あゆみ氏



公益社団法人企業情報化協会(IT協会)
http://www.jiit.or.jp/

基本日程（予定）

国内事前研修　2027年2月中実施予定（日程調整中）

調査団　3月3日（水）～3月6日（土）　4日間

国内事後研修会　3月中実施予定（日程調整中）

日次	月日曜	発着地／滞在地名	現地時間	交通機関名	摘　　要	食事
1	3月3日(水)	羽田空港集合	6:00		羽田空港第2ターミナル 団体カウンターご集合	×
		羽田　空港発	8:45	NH861	羽田／韓国・金浦	
		ソウル・金浦空港着	11:10		入国審査	
			12:10	専用車	空港→レストラン	○
			13:00		昼食	
			14:00	専用車	レストラン→訪問先	
			14:30		企業訪問①～16:00	
			16:00	専用車	訪問先→ホテル	
					チェックイン	
			18:00		ホテル→レストラン	
			18:30		夕食	○
			20:30	専用車	レストラン→ホテル	
					（メルキュールアンバサダーソウル東大門　泊）	
2	3月4日(木)	ソウル滞在	朝		ホテルにて朝食	○
			9:30	専用車	視察先へ移動	
			10:00		企業訪問②～12:00	
			12:30		昼食～13:30	○
			13:30	専用車	視察先へ移動	
			14:00		企業訪問③～17:30	
			17:30	専用車	レストランへ移動	
			18:00		夕食	○
			20:00	専用車	レストラン→ホテル	
					（メルキュールアンバサダーソウル東大門　泊）	
3	3月5日(金)	ソウル滞在	朝		ホテルにて朝食	○
			9:30	専用車	視察先へ移動	
			10:00		企業訪問④～12:00	
			12:30		昼食～13:30	○
			13:30	専用車	視察先へ移動	
			14:00		企業訪問⑤～17:30	
			17:30	専用車	レストランへ移動	
					企業訪問ではなく市内視察に変更の可能性あり	
			18:00		夕食	○
			20:00	専用車	レストラン→ホテル	
					（メルキュールアンバサダーソウル東大門　泊）	
4	3月6日(土)	ソウル滞在	朝		ホテルにて朝食・チェックアウト	○
			9:30	専用車	視察先へ移動	
			10:00		企業訪問⑥～12:00 or 観光	
			12:30		昼食～13:30	○
			13:30	専用車	市内観光	
		ソウル・金浦空港着	17:00		到着後、チェックイン	機内軽食
		ソウル・金浦空港発	19:50	NH868	韓国・ソウル／羽田	
		羽田空港着	21:55		通関後、空港にて解散	
					お疲れ様でした！	

＊利用予定航空会社：NH…全日本空輸（ANA）　＊発着日時及び交通機関等は変更になることがあります。

訪問企業

訪問先1：DOUZONE BIZON（ダゾンビズオン）江村キャンパス（春川）

DOUZONE BIZON（ダゾンビズオン）は、ERP、会計・税務、グループウェア、クラウドなど、企業活動を支えるソリューションを幅広く提供する韓国を代表するICT企業です。近年は、企業データを活用する生成AI「ONE AI」を各種業務システムに組み込み、経理・人事・文書作成など日常業務の変革を推進しています。本調査団では、春川の江村キャンパスを訪問し、D-Cloud CenterやAI関連施設を見学するとともに、経営陣との対話を通じて、AIを企業実務へ定着させる戦略、人材・組織、データ活用とガバナンスについて伺います。





訪問先2：NAVER1784※訪問調整中

NAVERは、検索、コンテンツ、EC、クラウドなど多様なサービスを展開し、AI、ロボティクス、データ基盤の研究開発を進める韓国を代表するデジタルプラットフォーム企業です。今回訪問する第二本社「1784」は、AI、5G、クラウドと建物設備を融合した世界初のロボットフレンドリービルです。約100台の自律走行ロボットやロボット専用エレベーターが日常的に稼働しています。本調査団では、施設やAI関連技術を見学するとともに、先端技術を実際のサービスや働く環境へ実装する戦略、人材・組織のあり方について意見交換を行います。

訪問先3：FORCS（フォーシーエス）韓国本社

フォーシーエス（FORCS）は、1995年に韓国で設立された電子文書ソリューション企業です。公共機関、金融機関、一般企業など5,000件を超える導入実績を持ち、帳票作成の「OZ Report」、申請・契約手続きを電子化する「OZ e-Form」、クラウド型電子契約サービス「eformsign」などを展開。現在はAIによる文書作成・承認・検索の自動化にも取り組んでいます。本調査団では、韓国でペーパーレス化が浸透した背景と、電子文書を起点とする業務プロセス変革、日韓のデジタル化の違いについて伺います。



その他調整中・情報は随時更新します